



2011年5月24日

報道関係各位

TIS 株式会社

**TIS、EDI パッケージ「ACMS」を中核とした国内初の SaaS  
『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』の提供を開始  
～ EDI 環境の運用負荷を軽減するとともに、最適なコストでの利用が可能に ～**

IT ホールディングスグループの TIS 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:桑野 徹、以下 TIS)は、EDI(電子データ交換)パッケージ市場シェア No.1(※)の株式会社データ・アプリケーション(本社:東京都中央区、代表取締役社長:橋本 慶太、以下 DAL)の「ACMS」を中核とした、『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』(ティアアイエス イーディーアイ オンデマンド サービス バイ エーシーエムエス)を、国内初の SaaS として 2011 年 6 月 1 日より提供することを発表します。

※2009 年売上金額実績。出典:株式会社富士キメラ総研発行「2010 パッケージソリューション・マーケティング便覧」

TIS は、これまで 10 年以上にわたり、ACMS を中核とした数多くの EDI システム構築・運用に携わってきました。『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』は、これらの実績をもとに習得してきたシステム設計や運用など EDI 環境提供のノウハウを反映しています。本サービスを活用することで、新たに EDI を利用する企業は、個別のシステムを構築することなく最適な EDI 環境を選択し、利用することができます。また、これまで自社で EDI 環境を構築・利用していた企業においては、同環境の維持や日々のシステム運用にかかっていた負荷を軽減し、そのマンパワーを自社のコア業務に活用できるようになります。

『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』のインフラには、TIS が提供している企業向けの PaaS/IaaS である「TIS Enterprise Ondemand Service」を活用しています。そのため、企業は EDI 環境を利用するにあたって自社でハードウェアやサーバの調達を行う必要がありません。また、「TIS Enterprise Ondemand Service」の可用性 99.99%という高い堅牢性により、企業のビジネスの根幹を担う EDI の分野においても安心して利用できるサービスとなっています。

#### <サービス概要>

『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』は、通常 EDI システムの運用に必要な各種機能を SaaS として提供するサービスです。企業の基幹システムと各種 EDI プロトコルを接続するための「基幹システム連携機能」、基幹システムと各種 EDI フォーマットの変換を行う「変換機能」、変換したフォーマットでデータ通信を行う「通信機能」から構成されています。また、マスタ登録や通信や処理のエラー監視など、EDI 環境の運用に必要な各種機能もオプションサービスとして提供します。

『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』は以下のような特長を持つサービスです。

- ① 主要プロトコルへの準拠で EDI 環境維持の運用負荷を軽減  
EDI では、“JCA 手順”や“全銀 TCP 手順”などのデータ交換の伝送手段(プロトコル)があり、企業はこのプロトコルに準拠した伝送手段を取引先ごとに準備する必要がありました。また、“RosettaNet”や

“ebXML”など、次世代のプロトコルも次々と公開されており、新たなプロトコルに対する対応や伝送手段に関するノウハウの維持などには大きな運用負荷がかかっていました。

本サービスは、国内外標準の様々なプロトコルをサポートしており、企業の目的にあわせた必要なプロトコルの選択が可能です。これにより、サービス利用企業は、新たなプロトコルへの対応や伝送手段のノウハウの維持など、EDI 環境維持の運用負荷を軽減することができます。

② EDI 周辺の維持管理コストの軽減

本サービスには、ネットワーク環境のほか、通信機器やソフトウェアなど EDI 環境利用に必要なすべてがサービスとして提供されます。そのため、企業は EDI 利用のための周辺機器やソフトウェアの資産管理、保守更新などの維持管理コストを軽減することができます。

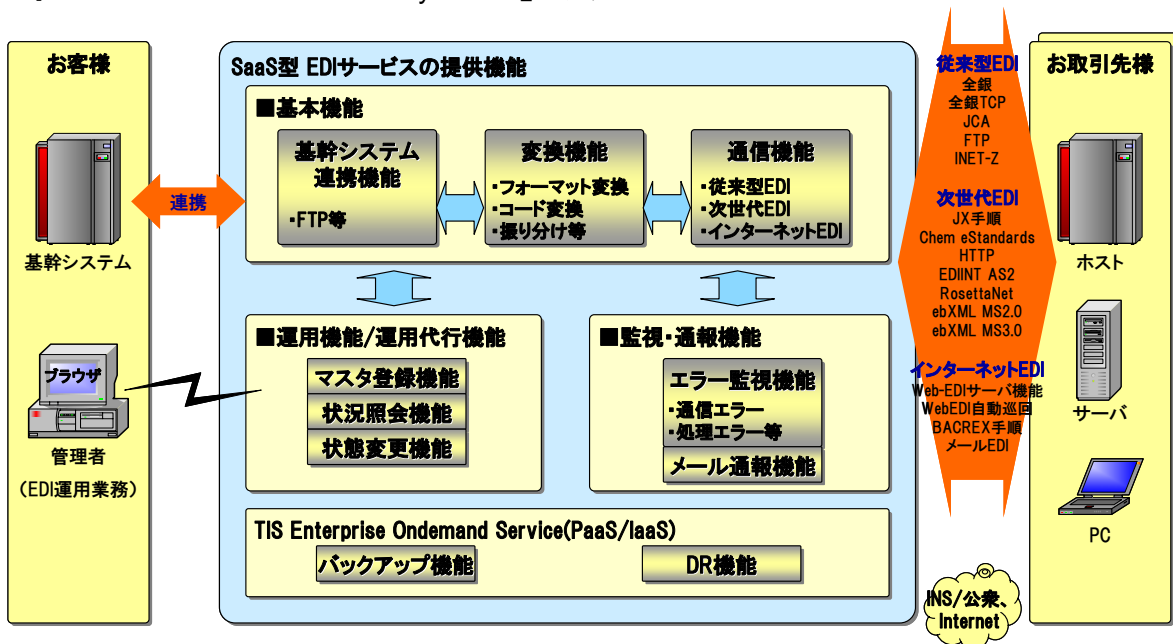
③ EDI の利用費用の軽減・平準化

これまでの VAN サービスや ASP では、取引データ単位で課金され、使用しているシステムリソース量にかかわらず高いコストがかかっていました。また、毎月の取引量が平準化されず、あらかじめコストの増減が予測できない問題が発生していました。本サービスでは、使用するリソース量(メモリや CPU 数など)によって課金するため、これまでの取引データ量による課金に比べると基本的なコストを安く抑えることができます。また、あらかじめ必要なリソース量を確保しておき、取引量が増加しシステムリソースが足りなくなる場合に限りリソース量を増加させることができるため、毎月のコストの増減を抑えながらコストの最適化を図ることができます。

④ 各社ニーズ・システム規模にあわせた柔軟なメニュー構成

本サービスでは、基本的な EDI 環境のほか、オプションサービスとして、導入企業の要望に応じて、EDI 環境を運用する上で必要となるシステムの運用・監視サービスとして業務運用の代行サービスも提供します。導入企業は、自社の利用規模に合わせて、最小限の EDI 機能だけの利用から、運用業務代行を含めた大規模な EDI 環境の利用まで、柔軟に選択することができます。また、システム基盤の面では、事前の申請により、メモリや CPU、ネットワーク環境など、EDI 利用に必要なシステムリソースを確保できるため、利用規模に応じて最適なシステムリソースを短期間に割り当てることが出来ます。

<『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』の提供サービスイメージ>



<『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』 サービスメニュー構成と価格 >

◆ サービスメニュー

費用項目	提供サービス	サービス内訳
初期費用		
	システム構築・初期設定	ACMS導入費用、通信設備導入費用 TIS Enterprise Ondemand Service初期費用
月額利用料金		
基本	ACMSライセンス	通信機能、変換機能、基幹システム連携機能 運用機能、監視・通報機能
	ヘルプデスク	各種問い合わせ窓口
	インフラ運用サービス	TIS Enterprise Ondemand Service月額費用 通信設備維持費用
オプション	各種オプションサービス	運用代行機能、定期バックアップ機能等
	個別サービス	各種カスタマイズ機能

◆ 提供価格

- ・ 初期費用 : 200 万円(税別)～
- ・ 月額利用料 : 45 万円(税別)～

※ 初期費用、月額利用料とも、システム構成、利用オプションにより変動します。

<今後の展開 >

TIS は、『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』により、3 年間で 3 億円の売上拡大を目指します。また、本サービスを将来的には企業の IT 基盤の中核となるサービスとして、データ交換を必要とする企業内の基幹システムや、調達・購買や会計などの各種 SaaS と連携させることで、より広範囲の企業への提供を推進し EDI ビジネスを拡大していく予定です。

株式会社データ・アプリケーションの代表取締役社長 橋本慶太氏は、以下のようにコメントしています。  
「TIS 殿が ACMS を基盤とした EDI システムのサービス(SaaS)を開始されることを、弊社は歓迎いたします。旧来より、EDI を導入されているお客様が抱えておられる様々な課題を解決するサービスとして、また私共のご提供しているソフトウェアである ACMS をより広範囲のお客様にご利用いただく機会として、大変期待しております。また、TIS 殿は、自社で ACMS を使ったシステムを導入・運用されているほか、お客様向けのシステムの構築・運用で培われた大変高いレベルのノウハウを保有されています。今回提供を開始される『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』には他社にないこれらのノウハウが凝縮されたものとして、導入される企業のビジネスを支えていかれることと確信しています」

【EDI パッケージソフトウェア「ACMS」について】

DAL の「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」は、すでに 1300 社 4800 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ACMS シリーズは、メインフレームから PC まで、プラットフォームに依存しない Java ベースで開発されており、基幹システムと連携した B2B 環境を容易に構築可能な「ACMS B2B」、企業内外のアプリケーションを統合する「ACMS E<sup>2</sup>X」、Web-EDI におけるブラウザ操作を自動化する「ACMS WebAgent」など、システム規模・接続ニーズに応じて充実した製品ラインアップを揃えています。

## 【「TIS Enterprise Ondemand Service」について】

[http://www.tis.jp/service\\_solution/paas/index.html](http://www.tis.jp/service_solution/paas/index.html)

「TIS Enterprise Ondemand Service」は、企業 IT システムでのクラウド利用のメリットを最大化する為に、従来の個別システムとクラウド環境を併用した形のハイブリッドなシステムの実現を支援する PaaS/IaaS です。TIS がこれまで培ってきた大規模システムのシステム・インテグレーション (SI) と運用の実績やノウハウに基づいた SI 技術とクラウド技術を組み合わせて、企業システムの最適化された IT インフラ構築を支援します。サービス利用企業は、個別開発された大規模なシステムからスモールスタートの小規模システムまで、ニーズや規模に応じて、本サービスが提供する PaaS/IaaS に加えて、TIS の従来サービスである SI や運用サービスを自在に活用できます。また、Web 上のポータルサイト経由でサーバ、ストレージ等のインフラリソースをオンデマンドに利用しメンテナンスが可能な点も本サービスの大きな特長の一つです。

### ◆ITHD グループのクラウドへの取り組みについて

ITHD グループは、クラウドキャッチコピー「Our Cloud, Your Dream」を掲げ、クラウド時代をリードする豊富なサービスラインナップとクラウド技術を、新しいアイデア・付加価値で最適に活用し、お客さまビジネスの夢を支えるクラウドを提供してまいります。

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

### 【本件に関する問い合わせ先】

<報道関係お問い合わせ先>

TIS 株式会社

企画本部 広報部

担当:浄土寺/畠山

TEL:03-5402-2133 FAX:03-5402-2433 e-mail:[info@tis.co.jp](mailto:info@tis.co.jp)

<サービスに関するお問い合わせ先>

TIS 株式会社

IT 基盤サービス第1事業部 IT 基盤サービス第1営業部

担当:川口/須田

TEL:03-5402-2179 e-mail:[it-infra@mbgx.tis.co.jp](mailto:it-infra@mbgx.tis.co.jp)